

**講座
20**

川崎の資源が創り出した豊かな地域

【定員】72名 【受講料】2年会員13,430円 1年会員15,110円 聴講生20,130円（野外学習安全費用50円を含みます。）

『川崎学』 歴史（川崎学） 【時間】 毎回10時30分～12時00分（計12回）

概要

川崎は江戸・東京、そして横浜の後背地として、二つの大都市に重要資源を供給しながら、自らを発展させてきた歴史がある。また沖積地・海浜・丘陵・河川など多様な自然環境が、活発な資源の交流を生み出し、人々に豊かな生活をもたらした。前期の川崎市政100年をうけて、資源から見た川崎の歴史を考えていく。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/ 5(土)	川崎市 生涯学習 プラザ	海からの恵み（縄文海産資源）	元横浜市埋蔵文化財センター調査研究員 坂本 彰
2	10/12(土)		古代川崎市域と馬の生産	國學院大學栃木短期大学准教授 中 大輔
3	10/19(土)		都筑・多摩地域の白布・絹布	國學院大學栃木短期大学教授 菱沼一憲
4	10/26(土)	野外学習	南武支線を歩く	東部62部隊を語り継ぐ会代表 大泉雄彦
5	11/ 9(土)		多摩川の水資源、大丸用水を歩く	國學院大學栃木短期大学教授 菱沼一憲
6	11/16(土)	川崎市 生涯学習 プラザ	近世川崎地域を中心とした山野の資源	國學院大學栃木短期大学教授 坂本達彦
7	11/30(土)		江戸を支えた川崎の木炭	法政大学第二中・高等学校育友会教育研究所所長 大庭乾一
8	12/7(土)		首都圏の建造物を支えた多摩川の砂利	元宮内郷土史フォーラム、郷土史家 野口 英雄
9	12/14(土)		京浜工業地帯と生活を支えた川崎の水道	大正大学准教授 松本洋幸
10	1/18(土)		関東一の水車が果たした役割について	アミガサ事件100年の会書記 関崎益男
11	1/25(土)		川崎の生産と流通を結びつけた道	成城大学名誉教授 田中宣一
12	2/ 1(土)	工場を動かす電力の話	日本地名研究所研究員 菊地 恒雄	

**連絡
事項**

初回(10/5)はコーディネーターの先生の話と事務連絡があります。10時までにお集まりください。